

防災スペシャリストが身につけるべき事項・能力の考え方

防災スペシャリストが身につけるべき「能力」は、資料1で示した防災対策に必要な「活動」に着目し、この活動ができるようになるために、どのような能力を身につける必要があるかという観点で整理する。

<身につけるべき事項・能力の考え方>

「防災スペシャリスト」として身につけるべき事項には、防災活動に取り組む上で当然知っておくべき「1. 活動の前提（枠組み）」と、防災活動を遂行するために個人が有しておくべき「2. 活動遂行能力（個人の能力）」の2つがある。

1. 活動の前提（枠組み）

- 法律や計画など、防災活動を行う上での枠組み

2. 活動遂行能力（個人の能力）

- 防災活動を行う上で個人が有しておくべき能力
- 活動遂行能力は、「知識」、「技能」、「態度」の3つの能力要素に分類される

① 「知識」：知っている、理解している

- 防災活動を行う上で不可欠な事項や情報を知っている、認識・理解している

② 「技能」：体得している

- 防災活動を行う上で必要な動作や技術を身につけている

③ 「態度」：適切にふるまえる

- 防災活動を行う際に、状況に応じた正しい心構えやふるまいを選択できる

なお、「活動の前提」をはじめ、防災スペシャリストとして身につけるべき知識・技能・態度の3つの能力要素からなる「活動遂行能力」は、実際の活動をもとにしたふりかえりを通じて検証し、教訓を得て、継続的に改善を図ることが重要である。

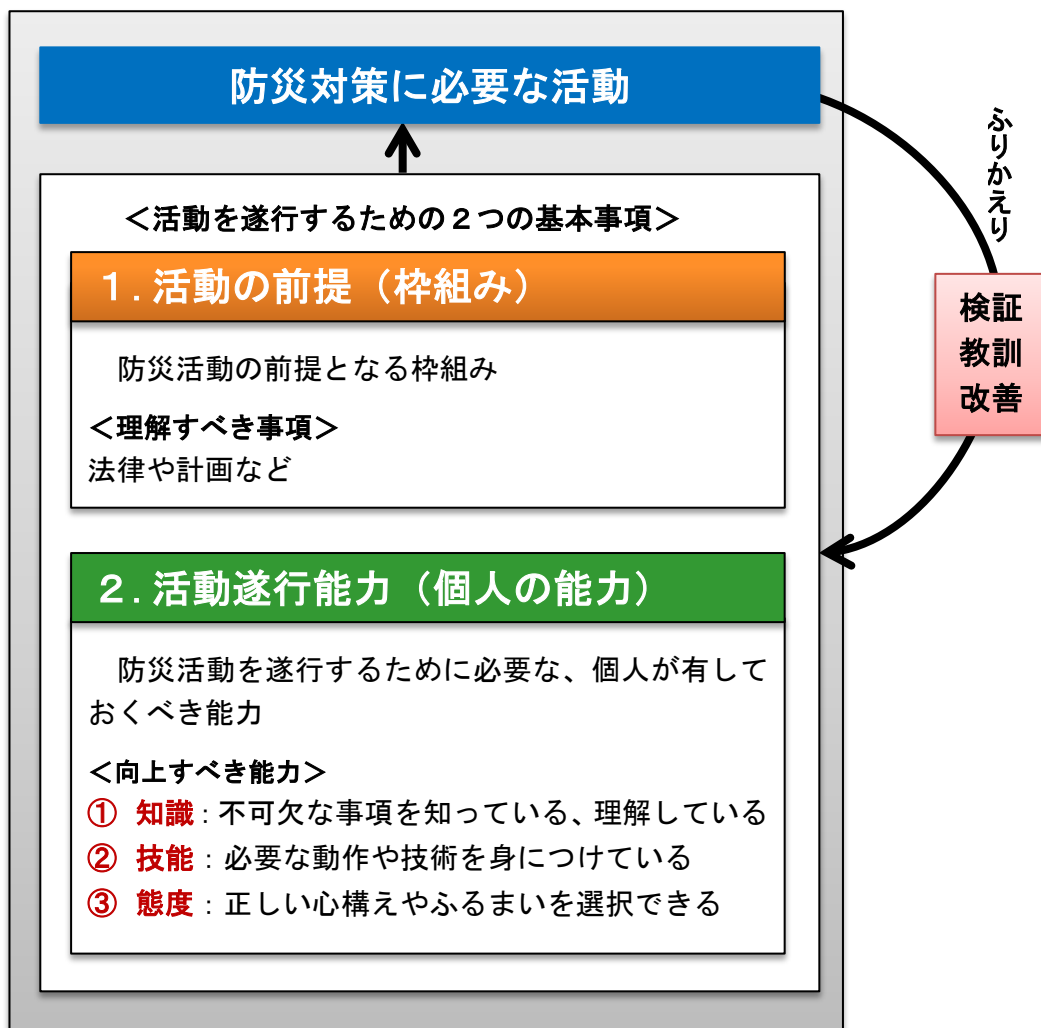


図 防災活動を遂行するために必要な能力と改善